

# What's up, OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。  
《Vol. 80》2019年10月発行

## なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【豊後高田市／杵築市】



(豊後高田市)  
熊野磨崖仏



(豊後高田市)  
豊後高田そば



(杵築市)  
城下町



(杵築市)  
うれしの

## ラグビーワールドカップ2019™日本大会が開幕しました

### ファンゾーンが始動

ラグビーワールドカップ2019™日本大会の開幕に合わせて、大分駅南側の大分いこいの道広場で大会期間中に15日間開催する「ファンゾーン」が始まりました。

初日となる9月20日(金)は、今泉清さん(大分県ラグビー大使)のトークショー、ゆふいん源流太鼓のオープニングアクトの後、日本対ロシア戦のパブリックビューイングを実施。多くのラグビーファンが集まり、とても盛り上がりました。



### ニュージーランド代表(オールブラックス)が大分入り!

9月24日(火)に大会史上初の3連覇を狙うニュージーランド代表(オールブラックス)が大分入りしました。キャプテンのキーランリードは日本語で挨拶し、選手のみなさんは空港に集まったたくさんのファンのサインや握手の求めに優しく応じてくれました。

世界のトップ選手が大分で行う、まさに一生に一度の感動を、スタジアムやファンゾーンで世界のラグビーファンとともに分かち合いましょう!



## チェコ共和国ホドニン市訪問

8月20日から23日にかけて、安東副知事、原田日田市長、赤松大分・チェコ友好協会会長等関係者11名がチェコ共和国ホドニン市を訪問しました。

今回の訪問は、昨年5月に大分で開催された世界温泉地サミットにホドニン市長（当時）がチェコ大使とともに参加し、産業や自然環境が似ている日田市を訪問したことが縁となり実現したものです。

ホドニン市は、チェコ共和国南部に位置し、人口は約26,000人、ワインの生産地として有名であり、市内にはクルーズができるモラヴァ川が流れています。また、最近では、温泉を核としたスパ（健康温浴施設）にも力を入れています。

今回の訪問では、市長への表敬訪問を行ったほか、ホドニン市出身でチェコスロバキア共和国の初代大統領であるマサリク大統領の生い立ちを展示したマサリク博物館やホドニンスパを訪問しました。同スパには、手術後の療養等を目的として年間約5万人が訪れ、3～4週間滞在する人も多いとのことでした。県では、引き続き日田市とともにホドニン市との交流促進を図っていきます。



表敬訪問（左から3人目がホドニン市長）



ホドニンスパ外観

## 大分県台湾フェア開催

9月6日から15日に台湾で県産品と観光を一体的にPRするレストランイベントを開催しました。

今回のフェアのメイン会場となる「和韻WAING」では、石橋シェフが、おおいた和牛、国東オイスター、乾しいたけ等の食材を使用した全6品の大分特別メニューを提供してくれました。7日には中島企画振興部長等が会場でオープニングイベントを行い、県産食材と観光をPRしました。来店したお客様からは、おおいた和牛のおいしさはもちろん、国東オイスターが非常に美味しかったという声をいただきました。

また、台湾北部に展開する鉄板焼チェーン店「穿巷ステーキ」でも、おおいた和牛を提供するイベントを行いました。SNSで宣伝したところ、開店1時間前から20名ほどの行列ができました。

現地メディア3社で今回のフェアと県産食材や観光の宣伝記事が掲載されました。引き続き様々な機会を活用して、台湾の方に大分県の魅力をPRしていきたいと思えます。



## 李 婷(りてい)研修員レポート -白杵市見学-



8月25日、白杵市に行き醤油工場と石仏を見学しました。事前に予約していなかったため醤油工場は休みで見学できませんでしたが、醤油と味噌、二種類のアイスクリームを食べました。とてもユニークで美味しかったです。工場自慢の醤油も一本買いました。

その後、白杵駅からバスで30分ぐらいの白杵石仏へ行きました。白杵石仏は街から離れたところにあり周りには水田とレンコン畑があります。石仏は、平安時代後期から鎌倉時代にかけて彫刻されたと伝えられ、1995年6月15日に国宝に指定されました。誰がどのような目的で彫刻したのか分かっていないとのこと。

あいにくの小雨で人が少なかったのですが、私はのんびりと周囲を歩きました。表情が豊かな仏様の姿に、神秘的な感じがしました。また、屈原の詩が刻まれた石碑を見つけて驚きました。それも日中交流の印の一つではないでしょうか。



## 海外大分県人会交流掲示板



オンタリオ大分どげえ会代表マーナ豊澤英子様よりご報告をいただきましたのでお知らせします！

まだ少し肌寒い天候の6月16日、1年ぶりのどげえ会を行いました。数十年以上もカナダに在住の人々、結婚や仕事で新しく移住した人々、そして小学生、中学生や高校生など、総勢17名が代表宅に集合しました。パートナーや家族と一緒に参加するのが本会の良さでしょうか。仕事について情報交換したり、子育てや学校教育の現状を伝えあったり、健康について各々の課題や解決策を話し合ったりと、色々な話に花が咲きました。年ごとに絆づくりが深まっていると感じています。温水プールで泳いだり、サウナで身体を温めたりと、早い夏をしっかりと満喫しました。夕食は、カナダで豊富かつ新鮮なサーモンをBBQで楽しみ、持ち寄りの十八番料理の美味しさに舌鼓を打ちました。

また、私が歌手EIKOとして日本で全国CDデビューし(祈り~INORI~)、プロ歌手となったことを報告する場ともなりました！地球上の人々の平和と幸せを願った、美しい楽曲です。大分とトロントを中心にさらに活動を広げていきましょう。世界の県人会の皆さま、そして大分県の皆さま、応援をよろしくお願い致します。



オンタリオ州(トロント)へお越しの際は当県人会までどうぞ連絡してください。

## 市町村からのお知らせ【豊後大野市】

豊後大野市内の中学校と韓国釜山広域市機張郡の長安中学校との「中学校国際交流事業」が行われました。この事業は豊後大野市内の中学生を対象に行っている韓国とのホームステイ交流です。1994年から始まり、両国を行き来しながら20年以上続いています。

今年7月27～29日(訪韓)、8月10～12日(来日)の日程で実施されました。



両国の生徒達はお互いパートナーとなり、ホームステイ交流をする中でお互いの文化を肌で感じ、国境を越えた友情を築きました。初めての海外、初めて見る街並み、初めてできた海外の友達。慣れない環境の中でも、英語・日本語・韓国語に加えてスマートフォンの翻訳アプリなどを使ってコミュニケーションを取ろうと努力しました。会話をしようとして一生懸命な姿がとても微笑ましかったです。



豊後大野市の生徒たちが韓国のパートナーに案内した市内の名所の中で最も多かったのが、緒方町にある「原尻の滝」です。幅120m、高さ20mを誇る「原尻の滝」は、日本の滝百選にも選ばれています。滝の落ち口のすぐ上が道路になっていて、足元を流れた水が落ちていく様子を間近で見ることができます。また滝の正面には吊橋がかかっており、滝の周りをぐるっと歩くことができます。



秋には大人を対象とするホームステイ交流を控えています。こちらも20年以上にわたって隔年で行き来をしており、今年豊後大野市の市民が機張郡を訪問する年です。今年の交流は初めて参加する方も多いということで、また新たな絆ができることを期待しています。

### 原尻の滝

「日本の滝100選」「大分県百景」のひとつにあげられる名瀑。

豊後大野市「田園地帯に突如出現する」ととてもめずらしい滝をぜひご覧ください。

アクセス(車)

〒879-6631大分県豊後大野市緒方町原尻410

豊後大野市役所から国道502号線で西へおよそ1.5km。原尻の滝入口(交差点)を左折するとすぐ。

【豊後大野市 まちづくり推進課】



Pick Up! 大分の「今」

# 県内の出来事（9月）

News

## 【9月16日(月)】唐揚げギネス記録「鶏」返す！

第12回からあげフェスティバルが15・16日、中津市のイオンモール三光で行われました。2017年に鳥取県に奪われた「1日の唐揚げ供給量」のギネス世界記録（1530キロ）突破にチャレンジ。1667キロを達成し、王座に再び返りました。この日は再び記録奪還のために中津、宇佐市などの専門店が早朝から調理を開始し、ギネス認定時には会場は大勢の来場者の歓声と拍手で沸きました。

News

## 【9月16日(月)】相撲 嘉風関引退

佐伯市出身で元関脇・嘉風が16日、東京都内のホテルで現役引退の記者会見をしました。スピードを生かした突き押し相撲で土俵を沸かせた16年間について、「入門時はこの年齢まで続けるとは思っていませんでした。本当にありがたい相撲人生を送らせてもらった」と振り返りました。大分のファンには「やっぱり地元を愛していたので、地元からの声援はもちろんありがたかった」と感謝を述べました。

News

## 【9月27日(金)】消費税10% 軽減税率も導入

いよいよ10月から消費税が10%に上がります。政府は消費者の負担を軽くする為に「軽減税率」を導入し、飲食料品などの税率は8%に据え置かれます。しかし店内で食べるいわゆるイートインは外食扱いとなり10%になるなど、制度がやや複雑で慣れるまでに時間がかかりそうです。政府では、増税と同時にキャッシュレスで買い物した人にポイントを還元する取組も実施し、景気対策と同時にキャッシュレス化の浸透に務めています。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

## From our Reporters

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



日本唯一の「サンドイッチ型城下町」杵築は九州の小京都と呼ばれ、全国初の「きものが似合う歴史的町並み」に認定されたそうです。いったいどんな町なのか興味が湧き、いつか自分の目で見てみたいと思って、やっと三連休の16日に叶いました。



ピョウ センテイ  
(Miao Zhanting)

杵築駅からバスに乗って終点のバスターミナルを降り、徒歩1分ぐらいの所にふるさと産業館・観光案内所があります。杵築の観光地図をいただき、まず杵築城へ行きました。杵築城には武士たちが使っていた鎧兜や日本刀などが展示され、小沢小門が描いた「青緑山水」の絵に意外にも李白の『山中間答』が書かれていて、ふと親しみを感じました。三階からは360度の展望ができ、本当に絶景でした。



それから有名な塩屋の坂、中根邸や酢屋の坂、勘定場の坂などを散策し、南台の展望台にも登りました。観光客が少ないため、着物姿の観光客には出会いませんでしたが、静かで江戸時代の風情が溢れている杵築の魅力を満喫して帰ってきました。

9月20日の金曜日、ラグビーワールドカップ2019が開幕しました。スポーツにはあまり興味ない私でも街中がラグビー一色になっていく様子を見て、いよいよ始まるんだなという気持ちでわくわくしてきました。パブリックビューイングが行われるファンゾーンは雨の中でも大盛況で、大勢の人でにぎわっていました。私たちも飲食ブースで買ってきた唐揚げとたこ焼き、焼きそばを食べながら試合を観戦しました。



金 眞雅  
(Kim Jina)

ラグビーのルールは全く知らないですが、応援の熱気でファンゾーンはすごく盛り上がっていてその場にいるだけで十分楽しかったです。特に韓国ではラグビーへの関心があり高くはないため、ラグビーに対する温度差も実感できました。また、日本代表には韓国人選手もいるので、彼の活躍を応援しながらまだまだ続くラグビーワールドカップを楽しみたいと思います。



先日、大分県農泊モニターツアーに申し込み、豊後高田市にある「田中屋」に一泊しました。ご夫婦二人と娘さんが運営している居心地良い素敵な民泊でした。まずは人生初めての農業体験をさせてもらい、知らないうちに私が採取した野菜が天ぷらやすき焼きの材料として夜ご飯のごちそうになっていました。田中屋の新鮮な味に甘やかされて、スーパーの野菜、特にキュウリが水っぽくて買いにくくなりました。



セーラ・バックレイ  
(Sarah Backley)

日本の夕陽百選に選ばれている真玉海岸は期待通りに綺麗な真っ赤な夕陽でした。毎日の忙しい生活から一時間ほど離れたところで、このような予想以上に深い会話と美味しい郷土料理が楽しめるのんびり流れる時間はお勧めです！



9月28日に、豊後大野市の国際交流協会の会員を対象にして、食文化に関する国際理解講座を行いました。現代オーストラリアの食文化は世界中のあらゆる文化の要素を取り入れてから生み出されたものなので、一体何について紹介しようか迷ってしまいました。結局、実家で一番よく食べていた中華・イタリア・ギリシャ料理と、その三カ国の移民の歴史を簡単に説明して、料理教室を行いました。



シェ シンラン  
(Xie Xin Lan)

パスタ、サラダ、デザートのお三品を皆さんと一緒に作って見ましたが、コンセントの故障でオーブンを使えなくなったり、フライパンでアップル・デニッシュを作ろうとしたら生地は焦げてしまったりして、色々大変でした。幸い、参加者の間に腕の良い方が多く、なんとかおいしく出来上がりました。終わりよければ全てよしとはこういうことでしょう。



県内の最新の観光情報はこちらからご覧ください！

(ツーリズムおおいたHP)

<https://www.visit-oita.jp/>

**話題提供のお願い!**



県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:藤原【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)